

平成 25 年 12 月定例議会での所信表明—安丸国勝町長

議会定例会の開会にあたりまして、一言（いちごん）御挨拶を申し上げます。

本日、ここに 第 16 回大刀洗町議会定例会を招集いたしましたところ、議員各位には 師走に入り、公私ともに御多用中にもかかわらず、御出席を賜わりまして、厚く御礼を申し上げます。

さて、本年も残すところ、あと僅かとなりました。

今年こそ平和で安定した社会の実現を望んでおりましたが、この一年を振り返ってみますと、昨年につき異常気象に見舞われた一年でありました。

幸いに、当町では昨年の水害のような大きな災害はございませんでしたが、8月下旬から9月上旬にかけて、秋雨前線や台風 15・17 号などの影響により、排水路の一部に被害が発生いたしました。

また、相次ぐ竜巻の発生や台風の接近・上陸に伴い日本各地で甚大な被害が発生いたしました。

特に、10 月中旬に関東地方を襲った台風 26 号では、伊豆大島で広範囲にわたる土砂災害が発生し、40 名近い方が亡くなりました。

国外では、11月上旬にフィリピンを襲った猛烈な台風30号の影響で、四千人近い犠牲者が出るなど、自然災害の恐ろしさをまざまざと見せ付けられました。

被害に遭われた方の御冥福を謹んでお祈り申し上げるとともに、来年こそは、災害の少ない平和な一年となることを願うものでございます。

経済面においては、デフレ脱却へ向けた「アベノミクス」の展開により、円相場や株価にも良い影響が見られるなど、ようやく長い停滞状況から抜け出しつつあるようです。

しかしながら、西日本新聞社が10月に実施した調査では、「賃金を増やす予定」と答えた企業は120社中9社に留（とど）まっております。

このことは、「地方」や「中小企業」について、賃上げ意欲を高めるほどの「アベノミクス」効果がいまだ見られず、地方経済は依然として先行き不透明であることを意味しているものと思われまます。

政治面においては、政府は今月5日に臨時閣議を開き、2014年4月からの消費税増税に備えた総額5兆5千億円の経済対策を決定いたしました。

この経済対策以外の新たな歳出を含めた総額7兆円規模の補正予算案は、今月12日に閣議決定される見込みで、政府の描く「好循環」が実現し、早期のデフレ脱却なるか、今後も国の動向を注視してまいりたいと思います。

本年度も8ヶ月が経過しましたが、庁舎耐震改修工事・町道改修工事を
はじめ、予定しております諸事業・諸施策について、計画どおり順調に進
捗しているところでございます。

これも、議員各位並びに町民の皆様の御理解と御協力の賜物と、深く感
謝申し上げます。

さて、本議会定例会で審議していただく主な議案は、

○「人権擁護委員候補者の推薦について」が3件

○「大刀洗町附属機関の設置に関する条例の一部を改正する条例」
の制定など、条例の一部改正が8件、

○「一般会計補正予算」及び「国民健康保険特別会計」
など補正予算が4件

でございます。

いずれも重要な案件を提案しておりますので、議員各位におかれまして
は、慎重に御審議いただき、最後には、御承認賜りますようお願い申し上
げまして、私からの御挨拶といたします。

どうぞよろしくお願いたします。